

自然や物を使った遊びで潤いと元気を！

遊びも学習である

遊びの特質

- ☆自由 ☆自発的
- ☆自主的・主体的
- ☆子どもの生活そのもの
- ☆創造的 ☆社会的
- ☆問題解決的
- ☆自分らしさの表出

自立への基礎へつながらる遊びの価値

遊びの活動で育つ子どもの姿

- ☆夢中になる
- ☆試行錯誤する
- ☆人とかかわる
- ☆問題解決をする

☆楽しさや心地よさを味わう

- ☆自信をもつ
- ☆意欲をもつ

☆自立への基礎を養う

生活科が誕生した当時、「遊びも学習である」ことを教師たちが理解するのには、少しばかり時間を要した。しかし、「遊び」を学習の対象とし、学習内容とする様々な実践が展開されていくうちに、「遊び」のもつ学習としての価値が明らかになっていった。

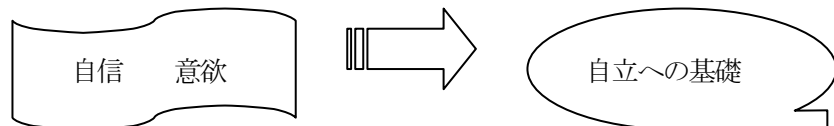
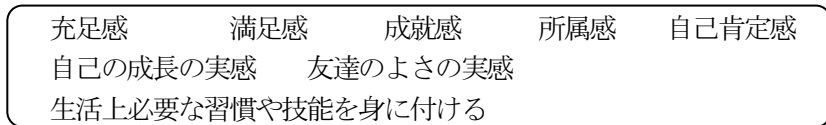
遊びは、自由で自発的なものである。遊びの中で、児童は自分らしさを発揮し、素直に対象とかかわっていく。遊びは、児童にとって楽しい生活そのものである。一人一人のよさや可能性が引き出される活動である。また、遊びの中で、新しいことを発見したり、知っていることをもとに試したり、工夫して繰り返し挑戦したりするというように、問題解決的な活動でもある。友達とかかわりながら、遊ぶ活動は一層高まり、広がって展開していく。遊びの学習としての価値には、次のような点が挙げられる。

- 自分の思いや願いを実現し、満足感を得たり、自分らしさを表出したりできる。
- 遊びをつくり出す楽しさや夢中になって遊ぶ楽しさを味わうことができる。
- 友達とかかわりをもち人間関係を深めたり、広げたりすることができる。
- 直感的、感覚的に遊びをつくり出す活動から、方法的な能力や態度をはぐくむことができる。

また、今回の改訂では、自然の面白さや不思議さ、素晴らしさを実感し、科学的な見方や考え方の基礎を養う観点から、自然や物を使った遊びの学習活動は一層重視されている。遊びは、自立への基礎を養う重要な学習活動である。

自分なりの思いや願いをもって、主体的に遊びの活動を始めた児童は、「繰り返す」「やり続ける」「考える」「試す」「やり直す」「人とかかわる」など、多様な姿を見せながら、活動を深めていく。その過程では、驚いたり、不思議に思ったり、感動したり、自ら考えたりするなどして、様々な気付きをもつようになる。教師は、それらの気付きを的確にとらえ、児童が自覚できるようにしたり、関連付けたりして気付きの質を高めるための指導、支援をする必要がある。「遊ばせているだけ」にせず、遊びを児童の学びや育ちをはぐくむ学習として成立させるのである。

熱中する	夢中になる	集中する	やり続ける	繰り返す
準備する	予想する	比べる	考える	試す
失敗する	けんかする	やり直す	修正する	切り替える
話し合う	聞き合う	知恵を出し合う	教え合う	協力する



生活科の学習において、自然や物を使った多様な遊びを、友達とかかわりながら豊かに展開していくことによって、自分たちの遊びや生活を工夫していこうとする意欲をもち、自信をもち、友達とよりよいかかわりを作っていこうとする、生き生きと輝く児童がはぐくまれていくのである。

遊びで育つ子どもの姿 ～会場校での実践～

☆場所
☆人
☆対象

- ★ 学校で遊ぶ・地域で遊ぶ
 - ★ 友達と遊ぶ・地域の人と遊ぶ
 - ★ 手や体を使って遊ぶ・物や道具を使って遊ぶ・自然と親しんで遊ぶ



☆遊びの
教育的
価値

学校が楽しく安心して遊びや生活ができる場所となる。

諸感覚を使って自然と触れ合い、自然の面白さや不思議さに気付く。

約束やルールの大切さがわかる。

生き物に親しみをもち、生き物とのかわり方に気付いて大切にする。

友達のよさや自分との違いに気付く。

地域の場所や物などに親しみ、愛着をもつ。

人とのかわり方や相手を尊重する態度がはぐくまれる。

地域での遊びや生活が豊かなものになる。

☆遊びの
問題解決
な過程

★ 問題解決的な活動をしながら遊びを発展させていく

比べる

ここここがちがうね。
このところは同じだよ。

繰り返す

おもしろいな。もう一度やってみよう。
いつもこうなるよ。
何かきまりがありそうだ。

試す

おかしいな。うまくいかない。どうしてだろう。
ここをこう変えたらいいかもしれない。
こうするとよさそうだ。やっぱりそうだ。



活動の過程において生活上必要な習慣や技能を身につける

生活科における子どもと自然と遊び ～会場校からの提案～

☆身近な
自然
☆環境教育
☆自然の面白さや不思議さ

生活科における「身近な自然」とは、児童を取り巻く自然の中から、児童が自分の遊びの目的のために選び出した自然のことをいう。会場校では、環境教育との関連を視野に入れ、児童の思いや願いを生かしながら、「太陽」と「風」に着目した学習活動を展開していく。児童がそれらの自然と十分に触れ合い、その面白さや不思議さを実感することにより、自然を好み、自然に触れようとする萌芽をはぐくみ、自然とつきあいながら豊かに暮らしていく人間の育成を目指す実践の提案である。